

平成二十九年年度 第二回「まちづくり愛川・俳句大会」入賞作品

【小学生の部】

(※学校名・児童名は、個人情報保護の観点から未記載。)

◇最優秀賞

〈「愛川町教育委員会教育長賞」〉

・ 準優勝ぼくのかわりにセミが泣く (愛川町立小学校五年)

〈「まちづくり愛川・俳句大会実行委員長賞」〉

・ 太陽に恋してまっ赤なトマトたち (愛川町立小学校六年)

◇優秀賞 〈「ホツとベンチ賞」〉

※順不同

・ つらがね恐竜の歯にそっくりだ (愛川町立小学校五年)

・ ひまわりが仲良くせのび青空へ (愛川町立小学校六年)

・ 天の川まるでわたしが川の中 (愛川町立小学校四年)

・ あめ玉に夏の太陽すきとおる (愛川町立小学校五年)

・ 秋風と手をふる村に見送られ (横浜市立小学校五年)

◇奨励賞 〈「選句委員特別賞」〉

※順不同

・ セミ達とラップを刻む炎天下 (愛川町立小学校六年)

・ 風涼しねこと一緒に夢うつつ (愛川町立小学校五年)

・ かき氷あたまの中は北極だ (愛川町立小学校五年)

・ 雪が今私をよぶの遊ぼうと (愛川町立小学校五年)

・ まっ赤だな秋には山がびじゅつかん (愛川町立小学校五年)

・ せみしぐれ休むことなくコンサート (愛川町立小学校四年)

・ 暑さはね水でつぼうでふきとばせ (愛川町立小学校五年)

・ 七色の華厳の滝と秋の空 (愛川町立小学校六年)

・ 秋空を見上げた先に陽明門 (愛川町立小学校六年)

・ 秋の風心もゆらし葉もゆらす (横浜市立小学校五年)

※菅原小児童の作品は、「日光修学旅行」での体験を、立野小児童の作品は、

「愛川ふれあいの村」での体験を、それぞれ題材にして応募されたもの。

平成二十九年年度 第二回「まちづくり愛川・俳句大会」入賞作品

【中学生の部】

(※学校名・生徒名は、個人情報保護の観点から未記載。)

◇最優秀賞

〈愛川町教育委員会教育長賞〉

- ・葉のしづく中にぼつんとかたつむり (愛川町立中学校三年)
- 〈まちづくり愛川・俳句大会実行委員長賞〉
- ・オリオン座神話の世界旅をする (愛川町立中学校三年)

◇優秀賞 〈「ホッとベンチ賞」〉

※順不同

- ・恋人を浴衣姿で待ちにけり (愛川町立中学校三年)
- ・桜咲く自分の未来描く旅 (愛川町立中学校三年)
- ・五月雨のぬくもり受ける八音山 (愛川町立中学校三年)
- ・かかし立つ夕日の影は一つだけ (愛川町立中学校三年)
- ・かげろうよ私をゆらりつれていけ (愛川町立中学校三年)

◇奨励賞 〈「選句委員特別賞」〉

※順不同

- ・関あじや瀬戸内海がにおいたつ (愛川町立中学校三年)
- ・咲き誇る桜の影に別れ道 (愛川町立中学校三年)
- ・母の日や一年分のありがとう (愛川町立中学校三年)
- ・てがみ来たかたにとまった天道虫 (愛川町立中学校三年)
- ・紫陽花やしづくの重さ感じをり (愛川町立中学校三年)
- ・ふかふかな落ち葉の上にダイビング (愛川町立中学校三年)
- ・満月に僕はたまらず手をのぼす (愛川町立中学校三年)
- ・自主練習素振り100本夏の空 (愛川町立中学校三年)

【一般の部】

◇最優秀賞

〈愛川町教育委員会教育長賞〉

・笹舟の旅は水澄む中津川

(愛川町中津

今井 千鶴子)

〈まちづくり愛川・俳句大会実行委員長賞〉

・鬼やんま尻尾に見せる息遣い

(厚木市妻田東

北村 純一)

◇優秀賞 〈「ホツとベンチ賞」〉

※順不同

・ふしくれし夫の手酌や新走

(愛川町中津

森田 京子)

・薬くすりやどの子も同じひかりなり

(愛川町春日台

亀田 雅江)

・明日の世に命つなきて蝉せみの殻から

(愛川町春日台

衛藤 佳也)

・青田風ふるさと我にやさしかり

(厚木市上依知

高階 弘悦)

・ふつくらと白木蓮に絹の雨

(愛川町角田

香 景)

◇奨励賞 〈「選句委員特別賞」〉

※順不同

・蔓草つるやここで終わりと風が吹く

(愛川町中津

村井 庄三)

・身の丈の終の住処や虫時雨

(愛川町半原

広井 瑞枝)

・蛍とぶ空に流れのあるやうに

(厚木市鷲尾

矢下 育子)

・小社こやしろの笛ねの音ねのせて刈田かりたかぜ風

(愛川町半原

富永 規子)

・火渡りの八菅の杜に花七分

(厚木市妻田北

阿部川 光興)